

# 遷延性悲嘆症に対する認知行動療法 (PGDT) の臨床研修

遷延性悲嘆症 (Prolonged Grief Disorder) は、悲嘆が長期に遷延化した状態であり、ICD-11 (2019) や DSM-5-TR (2022) で精神疾患に位置付けられたことから、今後臨床現場での治療のニーズが高まっている病態です。

本研修では、コロンビア大学の K. M. Shear 教授が開発した「遷延性悲嘆症に対する認知行動療法 (Prolonged Grief Disorder Therapy : PGDT)」について学ぶ機会を提供いたします。PGDTは、対人関係療法や曝露療法の要素を含む個人を対象とした16回のセッションによって構成される治療法です。本研修はPGDTの具体的な内容について、講義と演習 (ロールプレイを含む) によって学ぶものです。

講師

中島 聡美 (武蔵野大学 人間科学部 教授  
武蔵野大学 認知行動療法研究所 所長)

伊藤 正哉 (国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター  
認知行動療法センター 研究開発部長) 他

研修日程：2024年 10月 19日 (土) ~ 20日 (日) 10:00 ~ 17:00

開催場所：武蔵野大学有明キャンパス (東京都江東区有明3-3-3)

開催様式：対面研修 (オンライン・オンデマンド配信はございません)

参加費：30,000円

参加対象：精神医療・心理臨床業務に従事する医師、公認心理師、臨床心理士、看護師、精神保健福祉士、保健師等

定員：60名 (定員を超えた場合は抽選とさせていただきます)

申込方法：下記フォームよりお申し込みください

<https://forms.gle/DXu7FBW4Sr3vXsWy6>

(右のQRコードから申し込みができます)



申込期間：2024年 8月 26日 (月) 9:00 ~ 9月 2日 (月) 12:00

★本研修が条件を満たす場合には、日本臨床心理士資格認定協会の認定する「臨床心理士」資格更新に必要な研修ポイントとなるよう申請することを検討しております。なお、参加者の構成によっては条件を満たさない場合がありますことをご確認ください。

お問い合わせ

世界の幸せをカタチにする。  
Creating Peace & Happiness for the World



武蔵野大学 PGDT事務局  
cbtws@musashino-u.ac.jp

武蔵野大学 認知行動療法研究所  
(有明キャンパス内)

〒187-3535  
東京都江東区有明3-3-3